

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	2177
部 名	企画部	課 名	広聴広報課	課長名	白井誠一
事務事業名	市民と市長が語る会事業				
予算上の事務事業名	市民と市長が語る会				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		17110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます				
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第1施策 個性豊かな地域づくり				平成11年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市広報広聴規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 審議会・委員会・協議会 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
市民参加のまちづくりを推進するため、幅広く市民と市長が市政について積極的に意見交換する場として「市民と市長が語る会」を実施している。			テーマごとの分野で活動をしている人、そのテーマに興味などがある人		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
(1) 「犯罪のない安全・安心のまちづくりについて」語る会 開催日時 平成16年5月15日(土) 午前10時～正午 出席者数 8人(公募4人、団体推薦4人)					
(2) 「子育て支援について！」語る会 開催日時 平成16年7月17日(土) 午前10時～正午 出席者数 9人(公募5人、団体推薦4人)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	85	73	59	112	112
一般財源	85	73	59	112	112
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,092	1,051	728	1,059	1,059
事業コスト合計(a)	1,177	1,124	787	1,171	1,171
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	市民と市長が語る会			対象名称(単位)	開催回数(回)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	1,177	1,124	787	1,171	1,171
対象数	3	3	2	3	3
単位あたり経費(円)	392,333	374,667	393,500	390,333	390,333
前年度比		0.95	1.05	0.99	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	開催回数（回）		指標式と指標の説明	開催回数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	3.0	3.0	2.0			
目標	3.0	3.0	2.0	3.0	3.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	参加人数（人）		指標式と指標の説明	参加者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	25.0	23.0	17.0			
目標	27.0	27.0	18.0	27.0	27.0	
目標達成度	92.6	85.2	94.4			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
市が抱える課題やタイムリーな課題を設定することによって、参加者への十分な情報提供により、活発な参加を促し、多くの市民参加による意見の集約ができれば、成果の向上につながる。			市民主体のまちづくり実現のため、直接市民参加を得ることができる本事業は必要不可欠なものであり、より活発な市民参加を促すために、テーマ選定の検討などをする必要がある。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				